

日高高等学校 定時制課程

実施日時	令和元年7月5日（金）、9月4日（水）、11月18日（月）
参加者	生徒40名、教職員9名、地域住民等0名 計49名
実施内容	避難訓練、炊き出し、救急救命、地震体験

ねらい

- 1、災害についての知識をつける
- 2、災害から命を守る行動力をつける
- 3、災害から生き抜く力を身につける

主なプログラム

- 1、火災・津波に対して、各の状況を設定した避難訓練・避難場所の確認
- 2、地震体験車による体験訓練
- 3、心肺蘇生法を習得する
- 4、ハザードマップにより地域を知る
- 5、非常食（アルファ米）の炊き出し訓練



概要

- 1、御坊消防署職員による救急救命講習や、起震車による体験を通じ、地震の大きさや、心肺蘇生法についての学習を行った。
- 2、避難場所までの経路を確認して、経路上で危険な場所を調べるとともに、家族内でのルールや学校でのルールの確認を行った。



参加者感想文

- 震度が大きくなると、椅子から立ち上がることができなくなることを知った。
- 避難場所を家族で決めておけば、その場所に行けば、「必ず会える」。家族で避難場所を決めてみようと思った。
- 御坊市のハザードマップを見ると、海や川が近いので危険な場所が多いと感じました。



成果と課題

【成果】

救急救命講習は御坊消防署から2名の講師を招き、少人数の班編制で実施することができた。生徒は何度も人工呼吸法やAEDに触れることができ、救急救命に対する知識を深めることができた。

地震体験では、大地震の揺れを体験することができた。

避難場所については、ハザードマップを使い、マップの見方や避難経路について確認することができた。また、避難場所を家族で決め、各が自らの命を守る行動をとることの大切さについて理解を深めることができた。

【課題】

津波からの避難は1学期の早い段階で実施し、在校時の避難場所を確認し、保護者に周知する必要性を感じました。